

ウォーカブル区域に関するアンケート 集計結果

2026年6月

岡山大学 交通まちづくり学研究室

＜アンケート回収数＞

有効サンプル数118（問42以降は108）無回答を含む設問があるため、回答数（＝N数）は変動する

■対象自治体 132（自治体回答率：76%＝100/132）

■対象区域 158（区域回答率：75%＝118/158）

問2 設定した「年度」はいつですか。

N数 118

合計	118	100%
2020年度	35	30%
2021年度	14	12%
2022年度	17	14%
2023年度	20	17%
2024年度	20	17%
2025年度	12	10%

問4 設定の目的としてどの程度重視したか。

N数 118

	とても重視した	重視した	どちらかといえば重視した	どちらともいえない	どちらかといえば重視しなかった	あまり重視しなかった	全く重視しなかった	重視した比率
1. 活気や交流、経済活動が生まれる空間をつくること	59	42	14	3	0	0	0	97%
2. 誰もが心地よく歩行・滞在したくなるような空間をつくること	73	38	6	1	0	0	0	99%
3. 安全で安心して過ごせる空間をつくること	39	51	23	5	0	0	0	96%
4. 区域内外の移動がしやすく、区域外との接続性を高める空間を	17	34	24	35	3	5	0	64%
5. 市民の健康増進につながる空間をつくること	5	17	28	51	9	6	2	42%
6. 地域の愛着や誇りを持てるような空間をつくること	34	40	22	22	0	0	0	81%

注）重視した比率＝とても重視した＋重視した＋どちらかといえば重視した

問5 重視している順位をお答えください。

N数 117

	1位	2位	3位	4位	5位	1位 選択比率	平均得点
施策の実施により得られる実際の効果	82	26	5	2	2	70%	4.6
施策の実施にかかる費用（予算）	12	32	49	14	10	10%	3.4
施策の実施にかかる時間	0	5	17	58	37	0%	2.9
施策の実施により生じる副作用(騒音問題・渋滞問題等)	0	9	13	31	64	0%	2.2
地域住民や事業者等の関係者からの理解	23	45	33	12	4	20%	3.8

注) 平均得点 = 1位を5点、5位を1点とし、その合計得点を回答数で除したもの

問6 事業計画段階において、どの程度課題として認識していたか。

N数 118

	とても課題であった	課題であった	どちらかといえば課題であった	どちらともいえない	どちらかといえば課題ではなかった	課題ではなかった	全く課題ではなかった	課題と認識していた比率
1. 地域の課題分析や事業の目標設定	24	38	23	19	4	7	3	72%
2. 上位計画・関連計画との整合性確認	7	22	22	23	18	13	13	43%
3. 区域の場所選定	6	24	19	22	22	16	9	42%
4. 区域の規模設定	2	23	27	26	17	15	8	44%
5. 区域の境界設定	3	20	24	31	20	14	6	40%
6. 施策内容の設定	21	37	22	24	6	2	6	68%
7. 施策の実施スケジュールの設定	18	35	27	25	6	4	3	68%
8. 関連部署との役割分担	15	24	31	26	12	7	3	59%
9. 地域住民との調整、理解や協力の獲得	23	37	29	16	8	3	2	75%
10. 周辺事業者等との調整、理解や協力の獲得	22	30	24	22	12	4	4	64%
11. 警察等との調整、理解や協力の獲得	19	21	24	26	10	11	7	54%
12. 関連部署との調整、理解や協力の獲得	14	33	32	21	9	5	4	67%
13. 法制度・規制による制限	8	19	25	33	15	11	7	44%
14. 財源の確保	33	38	25	12	3	4	3	81%

注) 課題として認識していた比率 = とても課題であった + 課題であった + どちらかといえば課題であった

問7 ハード施策の内容及びその実施された場所

	実施率上位3施策	
	実施数	実施率
1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置	23	19%
2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備	66	56%
3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備	42	36%
4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備	66	56%
5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備	7	6%
6. トイレや水道等の衛生施設の整備	29	25%
7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備	33	28%
8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備	7	6%
9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備	33	28%
10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備	30	25%
11. 駐輪スペースの増設や拡大	14	12%
12. 健康遊具の整備	6	5%

1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
12	10	1	1	0	2	1	4	95	118	19%

2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
60	17	0	2	2	2	0	1	52	118	56%

3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
23	25	0	3	0	1	1	4	76	118	36%

4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
43	40	1	3	1	2	2	4	52	118	56%

5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
4	3	0	2	1	3	0	0	111	118	6%

6. トイレや水道等の衛生施設の整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
6	16	2	4	3	4	2	0	89	118	25%

7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
25	16	2	1	2	1	0	1	85	118	28%

8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
2	5	0	0	0	0	0	0	111	118	6%

9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
19	14	0	2	3	4	2	2	85	118	28%

10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
16	10	3	2	3	5	1	3	88	118	25%

11. 駐輪スペースの増設や拡大

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
5	1	4	1	2	1	0	1	104	118	12%

12. 健康遊具の整備

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
1	5	0	0	0	0	0	0	112	118	5%

問8 問7の施策項目以外に実施した「ハード施策」の有無

N数 118

1. 問7の施策項目以外に実施した「ハード施策」ははない	101
2. 問7の施策項目以外に実施した「ハード施策」がある	17

観光施設において、地域住民や観光客が交流できるまちなかハブの整備。
 まちなかウォーカブル推進事業にて、金剛中央線（ふれあい大通り）をウォーカブルな空間形成するためにふれあい大通りにある歩道橋を撤去。またふれあい大通りと面している金剛銀座街商店街に位置するピュア金剛（スーパー）跡をUR都市機構により撤去することにより、ふれあい大通りと金剛銀座街商店街を一体的な空間へ再編する。
 街路事業における歩道整備
 民間事業者により老朽化が著しいバスターミナルや隣接する空き家を除去し、低未利用土地を有効活用した
 都市公園の再整備、公園施設としての橋の設置
 電線共同溝整備事業・同地区内
 収益をエリアマネジメントに活用するための広告看板の設置、イベント用電源の設置
 イベントやデジタルサイネージのための電源設備やWi-Fi
 排水整備 道路
 市民の交流施設の整備
 国道から市役所エントランスに繋がる通路シェルター
 犬山城下町における街なみ環境整備事業
 電線地中化（道路）
 市街地再開発事業、民間の空き地をポケットパークとして暫定整備
 パークレットの設置@神戸阪急周辺
 歩道の横断勾配改善、電柱の移設・集約、バス停移設、バス待ち空間の確保
 都市利便増進協定を活用した駐輪場・シェアサイクルポートの整備および管理運営

問9 「ハード施策」の中で、最も重点的に取り組んだ施策

N数 89

※実施していない施策には回答しないため、N数が減少

	合計	89	100%
1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置		1	1%
2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備		45	51%
3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備		3	3%
4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備		30	34%
5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備		2	2%
6. トイレや水道等の衛生施設の整備		1	1%
7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備		1	1%
8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備		0	0%
9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備		3	3%
10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備		2	2%
11. 駐輪スペースの増設や拡大		1	1%
12. 健康遊具の整備		0	0%

問10 ハード施策が完了してからの経過年数

※実施していない施策には回答しないため、N数は施策項目ごとに異なる

	N数 ≡実施数	1年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上4 年未満	4年以上5 年未満	5年以上	一時的な 整備（社 会実験を 含む）
1. 地域の魅力を伝える看板やモ ニュメント・オブジェの設置	22	9	2	4	0	2	3	2
2. 歩道の設置・拡幅や路面舗 装等の歩行空間整備	65	25	8	8	5	6	5	8
3. 街路樹や植栽の設置等の緑 化整備	41	9	6	8	5	4	4	5
4. ベンチやテーブルの設置等の 滞在空間整備	64	20	11	8	1	2	6	16
5. ペDESTリアンデッキや地下道 等の立体的な歩行空間の整備	7	2	1	1	0	1	2	0
6. トイレや水道等の衛生施設の 整備	27	7	6	5	2	3	3	1
7. 街路照明や防犯カメラの設置 等の防犯整備	31	10	6	4	3	3	4	1
8. 避難経路看板や防災ベンチ の設置等の防災整備	6	2	1	0	2	0	1	0
9. 地図案内板等の歩行者向け 案内表示の整備	31	11	6	3	3	3	4	1
10. 段差解消やエレベーターの設 置等のユニバーサルデザイン・バリア フリー設備の整備	28	8	5	5	3	3	4	0
11. 駐輪スペースの増設や拡大	13	3	1	3	2	2	0	2
12. 健康遊具の整備	6	3	0	0	1	0	0	2

注) N数≡実施数が、問7の実施場所を回答した件数と一致しないのは、上記の各設問項目において無回答があるためである

		各施策別に見た下記 1 ～ 7 の項目が「課題になった」比率一覧						
	N数 = 実施数	1. 住民 や事業者 との合意 形成	2. 利用 者の確保	3. 参加 事業者や 担い手の 確保	4. 整備・ 実施場所 の確保	5. 安全 性の担保	6. 財源 の確保	7. 評価 指標や データの収 集
1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置	23	61%	13%	26%	30%	30%	61%	26%
2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備	66	71%	32%	35%	39%	52%	77%	47%
3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備	42	62%	21%	29%	24%	33%	67%	36%
4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備	66	55%	39%	36%	44%	45%	65%	55%
5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備	7	57%	0%	14%	29%	57%	71%	14%
6. トイレや水道等の衛生施設の整備	29	48%	24%	21%	28%	21%	72%	34%
7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備	33	42%	18%	18%	33%	33%	67%	33%
8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備	7	29%	14%	14%	14%	14%	71%	14%
9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備	33	39%	18%	18%	48%	24%	73%	36%
10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備	30	53%	23%	27%	33%	40%	77%	33%
11. 駐輪スペースの増設や拡大	14	71%	43%	43%	43%	43%	79%	36%
12. 健康遊具の整備	6	50%	33%	17%	33%	33%	67%	50%

注) 「課題になった比率」= 「とても課題であった」+ 「課題であった」+ 「どちらかといえば課題であった」の合計が施策実施件数に占める割合

1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置

N数 =実施数	23	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかとい えば課題であつた	どちらとも いえない	どちらかとい えば課題ではな かった	課題では なかった	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		3	5	6	8	0	0	1	61%
2. 利用者の確保		0	3	0	13	2	3	2	13%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	4	2	13	3	0	1	26%
4. 整備・実施場所の確保		0	3	4	8	5	1	2	30%
5. 安全性の担保		0	3	4	9	4	2	1	30%
6. 財源の確保		2	5	7	7	0	0	2	61%
7. 評価指標やデータの収集		0	4	2	14	0	2	1	26%

2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備

N数 =実施数	66	とても課題 であった	課題であっ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になっ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		11	28	8	7	6	6	0	71%
2. 利用者の確保		2	10	9	23	10	9	3	32%
3. 参加事業者や担い手の確保		5	6	12	22	9	8	4	35%
4. 整備・実施場所の確保		3	10	13	18	7	13	2	39%
5. 安全性の担保		3	19	12	18	7	7	0	52%
6. 財源の確保		9	22	20	9	2	3	1	77%
7. 評価指標やデータの収集		2	13	16	24	6	4	1	47%

3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備

N数 =実施数	42	とても課題 であった	課題であっ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になっ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		6	8	12	8	2	5	1	62%
2. 利用者の確保		2	3	4	19	6	7	1	21%
3. 参加事業者や担い手の確保		2	6	4	20	5	5	0	29%
4. 整備・実施場所の確保		1	3	6	15	7	9	1	24%
5. 安全性の担保		1	6	7	18	6	4	0	33%
6. 財源の確保		4	10	14	10	0	3	1	67%
7. 評価指標やデータの収集		2	6	7	23	0	4	0	36%

4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備

N数 =実施数	66	とても課題 であった	課題であっ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になっ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		11	13	12	15	5	9	1	55%
2. 利用者の確保		2	13	11	26	7	5	2	39%
3. 参加事業者や担い手の確保		5	9	10	26	6	8	2	36%
4. 整備・実施場所の確保		3	11	15	18	6	12	1	44%
5. 安全性の担保		2	16	12	22	6	8	0	45%
6. 財源の確保		9	19	15	16	1	5	1	65%
7. 評価指標やデータの収集		7	13	16	24	3	3	0	55%

5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備

N数 =実施数	7	とても課題 であった	課題であっ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になっ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		1	3	0	2	1	0	0	57%
2. 利用者の確保		0	0	0	4	2	1	0	0%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	0	1	4	1	1	0	14%
4. 整備・実施場所の確保		0	1	1	3	1	1	0	29%
5. 安全性の担保		0	1	3	3	0	0	0	57%
6. 財源の確保		1	1	3	2	0	0	0	71%
7. 評価指標やデータの収集		0	0	1	6	0	0	0	14%

6. トイレや水道等の衛生施設の整備

N数 =実施数	29	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		4	5	5	7	3	5	0	48%
2. 利用者の確保		2	4	1	11	3	7	1	24%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	3	2	15	0	7	1	21%
4. 整備・実施場所の確保		1	1	6	9	2	9	1	28%
5. 安全性の担保		1	2	3	14	2	6	1	21%
6. 財源の確保		3	9	9	5	0	3	0	72%
7. 評価指標やデータの収集		2	2	6	14	1	4	0	34%

7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備

N数 =実施数	33	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		4	5	5	10	4	5	0	42%
2. 利用者の確保		1	4	1	17	5	4	1	18%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	2	3	20	3	4	0	18%
4. 整備・実施場所の確保		2	3	6	14	2	6	0	33%
5. 安全性の担保		0	6	5	14	3	5	0	33%
6. 財源の確保		4	9	9	9	1	1	0	67%
7. 評価指標やデータの収集		2	4	5	17	3	2	0	33%

8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備

N数 =実施数	7	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		0	1	1	2	2	1	0	29%
2. 利用者の確保		0	1	0	2	0	4	0	14%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	0	1	3	0	3	0	14%
4. 整備・実施場所の確保		0	1	0	2	0	4	0	14%
5. 安全性の担保		0	1	0	2	0	4	0	14%
6. 財源の確保		0	2	3	2	0	0	0	71%
7. 評価指標やデータの収集		0	0	1	4	1	1	0	14%

9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備

N数 =実施数	33	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		5	4	4	9	8	2	1	39%
2. 利用者の確保		0	3	3	18	4	2	3	18%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	2	4	17	5	2	3	18%
4. 整備・実施場所の確保		1	7	8	10	5	2	0	48%
5. 安全性の担保		0	4	4	17	3	4	1	24%
6. 財源の確保		5	8	11	6	1	1	1	73%
7. 評価指標やデータの収集		2	4	6	16	4	1	0	36%

10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備

N数 =実施数	30	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		4	9	3	10	0	4	0	53%
2. 利用者の確保		1	5	1	15	0	6	2	23%
3. 参加事業者や担い手の確保		2	3	3	15	1	5	1	27%
4. 整備・実施場所の確保		2	2	6	13	2	5	0	33%
5. 安全性の担保		4	5	3	15	1	2	0	40%
6. 財源の確保		5	9	9	7	0	0	0	77%
7. 評価指標やデータの収集		3	3	4	18	0	2	0	33%

11. 駐輪スペースの増設や拡大

N数 =実施数	14	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		0	6	4	1	2	1	0	71%
2. 利用者の確保		1	4	1	4	1	2	1	43%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	3	2	5	2	0	1	43%
4. 整備・実施場所の確保		1	1	4	3	2	1	2	43%
5. 安全性の担保		1	2	3	4	2	2	0	43%
6. 財源の確保		3	3	5	2	0	0	1	79%
7. 評価指標やデータの収集		0	1	4	8	0	1	0	36%

12. 健康遊具の整備

N数 =実施数	6	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		2	0	1	2	0	1	0	50%
2. 利用者の確保		0	1	1	2	1	1	0	33%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	0	1	3	0	2	0	17%
4. 整備・実施場所の確保		1	0	1	2	0	2	0	33%
5. 安全性の担保		0	0	2	2	1	1	0	33%
6. 財源の確保		2	1	1	1	0	1	0	67%
7. 評価指標やデータの収集		2	0	1	1	1	1	0	50%

問23 実施した「ハード施策」について、総合的な観点からどの程度「実施してよかった」と思うか。

	N数 =実施数	とてもそう 思う	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかと いえばそう 思わない	そう思わな い	全くそう思 わない
1. 地域の魅力を伝える看板やモニュメント・オブジェの設置	23	7	11	4	0	0	0	1
2. 歩道の設置・拡幅や路面舗装等の歩行空間整備	66	39	24	3	0	0	0	0
3. 街路樹や植栽の設置等の緑化整備	42	22	17	2	1	0	0	0
4. ベンチやテーブルの設置等の滞在空間整備	66	35	27	2	2	0	0	0
5. ペDESTリアンデッキや地下道等の立体的な歩行空間の整備	7	4	2	0	0	0	1	0
6. トイレや水道等の衛生施設の整備	29	12	12	4	1	0	0	0
7. 街路照明や防犯カメラの設置等の防犯整備	33	13	16	3	1	0	0	0
8. 避難経路看板や防災ベンチの設置等の防災整備	7	2	3	1	1	0	0	0
9. 地図案内板等の歩行者向け案内表示の整備	33	9	14	9	1	0	0	0
10. 段差解消やエレベーターの設置等のユニバーサルデザイン・バリアフリー設備の整備	30	16	10	3	1	0	0	0
11. 駐輪スペースの増設や拡大	14	5	7	1	1	0	0	0
12. 健康遊具の整備	6	3	2	1	0	0	0	0

問24 ソフト施策の内容及びその実施場所

	実施率上位3施策	
	実施数	実施率
1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	11	9%
2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	70	59%
3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	44	37%
4. 避難訓練などの防災イベントの実施	9	8%
5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	26	22%
6. 自動車・自転車の流入規制	29	25%
7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	33	28%
8. 公共交通の運行条件や路線の見直し・改善	7	6%
9. ウォーキングコースの設定	4	3%
10. 街路や空間のネーミング	20	17%

1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
6	8	0	3	3	4	0	1	107	118	9%

2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
49	45	2	10	2	4	0	7	48	118	59%

3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
25	27	0	4	5	1	0	10	74	118	37%

4. 避難訓練などの防災イベントの実施

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
0	8	0	1	1	0	0	0	109	118	8%

5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
20	16	1	4	7	2	4	3	92	118	22%

6. 自動車・自転車の流入規制

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
27	3	1	1	0	1	0	0	89	118	25%

7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
14	10	0	10	3	0	1	4	85	118	28%

8. 公共交通の運行条件や路線の見直し・改善

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
5	1	0	0	0	1	0	1	111	118	6%

9. ウォーキングコースの設定

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
3	3	0	0	1	0	0	0	114	118	3%

10. 街路や空間のネーミング

道路	公園・広場	駐車場	商業施設	公共施設 (公民館、文化センター等)	交通施設 (駅・バス停)	観光施設	その他の場所	実施していない	N数	実施率
12	7	0	2	1	1	0	1	98	118	17%

問25 問24の施策項目以外に実施した「ソフト施策」の有無

N数 118

- 問25の施策項目以外に実施した「ソフト施策」ははない 105
- 問25の施策項目以外に実施した「ソフト施策」がある 13

実際の空き店舗を題材にしたリノベーションスクール

自転車等放置禁止区域の設定、府立高校で育苗した花苗の地域ボランティアによる駅前広場のプランターへの定植活動

歩行者利便増進道路の指定

リノベーションスクール、PR活動、民間のビジネス整備(環境の規制緩和)、自治会との連携

ほこみち制度に基づく占用者の選定。道路空間の管理運営に係る財源確保のための広告事業。

道路空間を活用した社会実験（滞留空間＋ポップアップストア）

ハレまち通りでは、沿道事業者が歩道空間をオープンカフェ等に活用できるよう、道路占用特例制度を利用できるようにしている。

モビリティ社会実験

照明社会実験

エリアマネジメント広告の設置

地域おこし協力隊による空き家の活用

商業施設の空き区画を活用したリビングラボ実証事業

岩槻まちゼミの開催

問26 ソフト施策の中で、最も重点的に取り組んだ施策

N数 85

※実施していない施策には回答しないため、N数が減少

	合計	85	100%
1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	1	1	1%
2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	60	60	71%
3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	5	5	6%
4. 避難訓練などの防災イベントの実施	0	0	0%
5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	4	4	5%
6. 自動車・自転車の流入規制	7	7	8%
7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	7	7	8%
8. 公共交通の運行条件や路線の見直し・改善	1	1	1%
9. ウォーキングコースの設定	0	0	0%
10. 街路や空間のネーミング	0	0	0%

問27 ソフト施策の実施頻度

※実施していない施策には回答しないため、N数は施策項目ごとに異なる

	N数 ≡実施数	ほぼ毎日	週に数回 程度	月に数回 程度	年に数回 程度	試験的な 単発実施 (社会実 験を含 む)	過去に定 期的に実 施していた (現在は 行ってい ない)
1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	11	0	0	0	2	9	0
2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	70	1	2	9	30	27	1
3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	43	1	0	4	18	17	3
4. 避難訓練などの防災イベントの実施	8	0	0	0	5	3	0
5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	25	0	0	1	17	7	0
6. 自動車・自転車の流入規制	28	5	0	0	4	19	0

注) N数≡実施数が、問24の実施場所を回答した件数と一致しないのは、上記の各設問項目において無回答があるためである

問28 ソフト施策を継続している年数

※定期的に実施していない施策には回答しないため、N数は施策項目ごとに異なる

	N数 ≡実施数	1年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上4 年未満	4年以上5 年未満	5年以上
1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	2	0	0	1	0	0	1
2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	42	4	3	9	6	6	14
3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	24	3	7	3	1	1	9
4. 避難訓練などの防災イベントの実施	6	1	0	1	0	2	2
5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	19	2	6	4	2	0	5
6. 自動車・自転車の流入規制	9	2	1	3	0	1	2

注) N数≡実施数は、実施場所を回答しかつ問27で「単発実施」や「現在は行っていない」と回答していないものに限定

問29 ソフト施策を継続している年数

※定期的に実施していない施策には回答しないため、N数は施策項目ごとに異なる

	N数 ≡実施数	1年未満	1年以上2 年未満	2年以上3 年未満	3年以上4 年未満	4年以上5 年未満	5年以上	一時的な 整備（社会実験を 含む）
7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	33	5	5	8	0	0	9	6
8. 公共交通の運行条件や路線の見直し・改善	7	1	0	1	0	1	1	3
9. ウォーキングコースの設定	4	1	1	0	0	0	1	1
10. 街路や空間のネーミング	20	8	0	2	3	1	4	2

注) N数≡実施数が、問24の実施場所を回答した件数と一致しないのは、上記の各設問項目において無回答があるためである

		各施策別に見た下記 1 ～ 7 の項目が「課題になった」比率一覧						
	N数 = 実施数	1. 住民 や事業者 との合意 形成	2. 利用 者の確保	3. 参加 事業者や 担い手の 確保	4. 整備・ 実施場所 の確保	5. 安全 性の担保	6. 財源 の確保	7. 評価 指標や データの収 集
1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施	11	27%	55%	45%	36%	45%	55%	45%
2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施	70	56%	61%	77%	47%	60%	51%	40%
3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施	44	48%	59%	66%	23%	30%	36%	27%
4. 避難訓練などの防災イベントの実施	9	67%	56%	67%	33%	56%	56%	44%
5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施	26	35%	54%	50%	27%	42%	50%	42%
6. 自動車・自転車の流入規制	29	72%	38%	45%	48%	69%	59%	48%
7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援	33	61%	70%	85%	58%	39%	48%	27%
8. 公共交通の運行条件や路線の見直し・改善	7	86%	57%	57%	43%	86%	71%	29%
9. ウォーキングコースの設定	4	0%	50%	50%	25%	0%	75%	0%
10. 街路や空間のネーミング	20	35%	25%	25%	10%	20%	25%	5%

注) 「課題になった比率」=「とても課題であった」+「課題であった」+「どちらかといえば課題であった」の合計が施策実施件数に占める割合

1. バス利用促進等の公共交通機関と連携したイベントの実施

N数 =実施数	11	課題に関する回答							課題になった比率
		とても課題であった	課題であった	どちらかといえば課題であった	どちらともいえない	どちらかといえば課題ではなかった	課題ではなかった	全く課題ではなかった	
1. 住民や事業者との合意形成		1	1	1	4	2	2	0	27%
2. 利用者の確保		1	2	3	2	2	1	0	55%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	1	3	4	0	2	0	45%
4. 整備・実施場所の確保		0	2	2	4	1	2	0	36%
5. 安全性の担保		0	1	4	2	2	2	0	45%
6. 財源の確保		3	2	1	2	3	0	0	55%
7. 評価指標やデータの収集		1	2	2	3	2	1	0	45%

2. マルシェ、マーケット、ショー等の集客イベントの実施

N数 =実施数	70	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		12	16	11	18	4	7	2	56%
2. 利用者の確保		6	20	17	16	1	9	1	61%
3. 参加事業者や担い手の確保		11	24	19	10	1	4	1	77%
4. 整備・実施場所の確保		5	14	14	18	7	7	5	47%
5. 安全性の担保		6	17	19	16	7	5	0	60%
6. 財源の確保		9	13	14	19	4	8	3	51%
7. 評価指標やデータの収集		5	13	10	29	7	4	2	40%

3. 清掃活動やワークショップ等の住民交流イベントの実施

N数 =実施数	44	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		5	9	7	11	6	4	2	48%
2. 利用者の確保		2	13	11	12	1	4	1	59%
3. 参加事業者や担い手の確保		5	11	13	12	1	2	0	66%
4. 整備・実施場所の確保		2	4	4	12	9	9	4	23%
5. 安全性の担保		0	4	9	16	8	5	2	30%
6. 財源の確保		4	5	7	13	5	6	4	36%
7. 評価指標やデータの収集		2	6	4	21	5	4	2	27%

4. 避難訓練などの防災イベントの実施

N数 =実施数	9	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		1	3	2	3	0	0	0	67%
2. 利用者の確保		0	4	1	4	0	0	0	56%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	4	1	3	0	0	0	67%
4. 整備・実施場所の確保		0	2	1	3	2	0	1	33%
5. 安全性の担保		0	1	4	4	0	0	0	56%
6. 財源の確保		0	2	3	3	1	0	0	56%
7. 評価指標やデータの収集		0	1	3	4	1	0	0	44%

5. まちあるきイベントやウォーキングイベントの実施

N数 =実施数	26	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		3	5	1	9	3	4	1	35%
2. 利用者の確保		1	8	5	9	2	0	1	54%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	7	5	7	3	2	1	50%
4. 整備・実施場所の確保		1	3	3	9	4	4	2	27%
5. 安全性の担保		1	4	6	8	4	2	1	42%
6. 財源の確保		2	3	8	9	3	0	1	50%
7. 評価指標やデータの収集		0	7	4	8	4	2	1	42%

6. 自動車・自転車の流入規制

N数 =実施数	29	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		10	9	2	5	1	2	0	72%
2. 利用者の確保		3	5	3	12	2	2	2	38%
3. 参加事業者や担い手の確保		2	8	3	9	3	1	3	45%
4. 整備・実施場所の確保		6	6	2	8	3	2	2	48%
5. 安全性の担保		7	11	2	6	2	0	1	69%
6. 財源の確保		4	7	6	6	1	0	5	59%
7. 評価指標やデータの収集		3	8	3	11	3	0	1	48%

7. 飲食や物販など店舗事業者の誘致や支援

N数 =実施数	33	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		5	7	8	10	1	2	0	61%
2. 利用者の確保		6	12	5	9	1	0	0	70%
3. 参加事業者や担い手の確保		8	12	8	5	0	0	0	85%
4. 整備・実施場所の確保		4	2	13	9	1	3	1	58%
5. 安全性の担保		3	3	7	13	3	4	0	39%
6. 財源の確保		5	4	7	12	1	3	1	48%
7. 評価指標やデータの収集		4	3	2	21	1	2	0	27%

8. 公共交通のサービス水準や路線の見直し

N数 =実施数	7	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		2	2	2	0	0	1	0	86%
2. 利用者の確保		1	2	1	2	0	1	0	57%
3. 参加事業者や担い手の確保		1	1	2	2	0	1	0	57%
4. 整備・実施場所の確保		0	1	2	3	0	1	0	43%
5. 安全性の担保		1	3	2	1	0	0	0	86%
6. 財源の確保		2	3	0	1	1	0	0	71%
7. 評価指標やデータの収集		0	1	1	3	2	0	0	29%

9. ウォーキングコースの設定

N数 =実施数	4	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課題 ではなかつ た	課題では なかつた	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		0	0	0	2	1	1	0	0%
2. 利用者の確保		0	1	1	2	0	0	0	50%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	0	2	1	0	1	0	50%
4. 整備・実施場所の確保		0	0	1	2	0	1	0	25%
5. 安全性の担保		0	0	0	3	0	1	0	0%
6. 財源の確保		1	0	2	0	0	1	0	75%
7. 評価指標やデータの収集		0	0	0	4	0	0	0	0%

10. 街路や空間のネーミング

N数 =実施数	20	とても課題 であった	課題であつ た	どちらかと いえば課題 であった	どちらとも いえない	どちらかと いえば課 題ではな かった	課題では なかった	全く課題 ではなかつ た	課題になつ た比率
1. 住民や事業者との合意形成		0	3	4	6	1	5	1	35%
2. 利用者の確保		0	2	3	9	1	4	1	25%
3. 参加事業者や担い手の確保		0	2	3	8	1	4	2	25%
4. 整備・実施場所の確保		0	1	1	9	3	4	2	10%
5. 安全性の担保		0	2	2	9	2	3	2	20%
6. 財源の確保		2	1	2	8	2	4	1	25%
7. 評価指標やデータの収集		0	1	0	13	1	3	2	5%

問40 実施した「ソフト施策」について、総合的な観点から、どの程度「実施してよかった」と思うか。

	N数 ≡実施数	とてもそ う思う	そう思う	どちらかと いえばそう 思う	どちらとも いえない	どちらかと いえばそ う思わない	そう思わな い	全くそう思 わない
1. バス利用促進等の公共交通 機関と連携したイベントの実施	11	2	4	2	2	1	0	0
2. マルシェ、マーケット、ショー等 の集客イベントの実施	70	40	26	2	1	1	0	0
3. 清掃活動やワークショップ等の 住民交流イベントの実施	44	21	19	2	2	0	0	0
4. 避難訓練などの防災イベント の実施	9	4	4	1	0	0	0	0
5. まちあるきイベントやウォーキン グイベントの実施	26	6	16	3	1	0	0	0
6. 自動車・自転車の流入規制	29	13	10	3	3	0	0	0
7. 飲食や物販など店舗事業者 の誘致や支援	33	19	11	2	1	0	0	0
8. 公共交通の運行条件や路線 の見直し・改善	7	6	0	1	0	0	0	0
9. ウォーキングコースの設定	4	1	2	1	0	0	0	0
10. 街路や空間のネーミング	20	7	10	1	2	0	0	0

問41 施策評価に際し、定量的な項目で、計測しているものを選択してください。〔複数選択〕

		N数	118
		選択数	選択率
1. 歩行者量		79	67%
2. イベント等の参加者数		32	27%
3. 施設の利用者数・来訪者数		37	31%
4. 観光客数		12	10%
5. 商業店舗数		8	7%
6. 商業売上額		6	5%
7. 地価・路線価		20	17%
8. 区域内の滞在者数		14	12%
9. 自転車放置台数		7	6%
10. 空き家・空地件数		4	3%
11. 交通事故件数		1	1%
12. 公共交通利用者数(乗降客数)		25	21%
13. その他		41	35%
14. ウォークブル区域内での定量的な項目（指標）の計測は行っていない		6	5%

問42 計画当初と直近の状況を比較して、効果をどの程度実感していますか。 ※計画当初がコロナ禍(2020年～2022年)に当たる場合は、コロナ禍以前(2019年)と比較してください。

								N数	118
	とてもそう 思う	そう思う	どちらか といえばそう 思う	どちらとも いえない	どちらか といえばそう 思わない	そう思わ ない	全くそう 思わない	施策実施 直後のた めまだ分 からない	効果実感 比率
1. 活気や交流、経済活動が生まれる空間になった	12	34	26	27	2	1	3	13	61%
2. 誰もが心地よく歩行・滞在できるようになった	15	31	23	29	1	2	3	14	58%
3. 安全で安心して過ごせる空間になった	11	25	21	39	3	2	3	14	48%
4. 区域内外の移動がしやすく、区域外との接続性を高められた	7	12	17	56	4	4	3	15	31%
5. 市民の健康が増進された	2	7	19	66	4	3	3	14	24%
6. 地域の愛着や誇りが高まった	10	22	29	38	2	1	3	13	52%

注) 「効果実感比率」=「とてもそう思う」+「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の合計が施策実施件数に占める割合

問43 高齢者や子ども連れなど歩行に制約がある人のウォカブル区域内回遊を支援する取組

	N数				108
	実施している	現在検討中	将来検討したい	検討していない	実施～検討したいの合計比率
1.段差解消・スロープ・手すり・ベンチ・日よけ等の歩行支援設備を整備	29	30	16	33	69%
2.区域内情報のわかりやすい案内・ナビゲーション（デジタル／サイン）の設置	22	22	27	37	66%
3.トイレ・授乳室・休憩施設等の利用しやすさを高めた空間整備	21	21	17	49	55%
4.地域ボランティアや民間団体による移動サポート（例：買い物・送迎支援）	2	3	11	92	15%
5.ウォカブル区域内を走行するシャトルバスやタクシーなどの運行	8	3	7	90	17%
6.歩行補助モビリティとして、自転車やシニアカーなどのシェアモビリティの導入	17	14	12	65	40%
7.歩行補助モビリティとして、区域内を走行するグリーンスローモビリティ等低速電動車両の導入	3	12	17	76	30%
8.歩行補助モビリティとして、区域内を走行する車両の自動運転化	3	9	18	78	28%

問44 ウォカブル区域での自転車や電動キックボードなどの走行への対応〔複数選択〕

	N数		108
	あてはまる	あてはまる率	
1. 歩行者優先であることを道路標識や路面標示で知らせている	17	16%	
2. 自転車等が走行する専用レーンを整備している	17	16%	
3. 区域内では、自転車や電動キックボードの走行を禁止している	3	3%	
4. 自転車や電動キックボードについて、低速での走行を推奨している	1	1%	
5. 区域内の利用について、特に規制はしていない	83	77%	
6. 区域内で利用できるように、区域周辺で自転車や電動キックボードの貸し出しを行っている	20	19%	

問45 歩行に制約がある人の区域内回遊を支援するモビリティをウォカブル区域内に導入する考え

	N数		108
合計	108	100%	
1. 導入は想定していない	52	48%	
2. 現時点での導入は難しいが、今後の議論には関心がある	43	40%	
3. 条件（速度・区間・管理体制等）が整えば導入可能と考えている	3	3%	
4. 実証実験的な導入を検討している	6	6%	
5. 積極的に導入を計画している	4	4%	

問46 ウォーカブル区域におけるモビリティ導入の効果

	N数					108
	非常に期待できる	やや期待できる	どちらとも言えない	あまり期待できない	全く期待できない	期待できる比率
1.高齢者・子育て世帯の外出促進	12	51	36	8	1	58%
2.回遊性・滞在時間の向上	15	60	28	4	1	69%
3.商業・観光活性化	10	51	39	6	2	56%
4.ウォーカブル区域までの自動車利用の抑制	6	35	47	17	3	38%
5.地域愛着・まちの評価向上	6	38	57	6	1	41%

問47 「歩行を補助するモビリティ」の導入は、“まちなかウォーカブル”の理念に照らしてどう評価できるか

	N数		108
合計	108	100%	
1.合致する（誰もが利用しやすいまちの実現に資する）	37	34%	
2.条件次第で合致する	13	12%	
3.どちらともいえない	57	53%	
4.合致しない（歩行者中心の理念に反する）	1	1%	

問48 問47で「条件次第で合致する」との回答者が考える具体的な条件について

自転車走行レーンの整備

歩行者との共存において、双方の安全性確保

高齢者限定のデザイン、機能にならないようにする

なんば駅周辺は多くの歩行者が集中しており、混雑しており、歩行補助モビリティの導入が難しい。そのため、空間に一定の余裕があることが条件だと思う。

歩行者の通行に影響しない範囲での導入

運行の便数・乗降場所・運賃が適切であること

歩行者の安全が十分に確保され、運用ルールが整った場合

当地区では中心部がペDESTリアンデッキ（自転車歩行者専用道路）となっており、そのようなエリアでは警察（交通管理者）の積極的な介入という前提条件がない限り、道路上をモビリティが通行することは現実的に厳しいと思われる。

歩行を補助するモビリティはウォーカブルを推進するための補助的要素であり、それさえあればまちなかウォーカブルの実現に直結するといえるものではない。（他の滞在快適性向上や賑わい創出などの条件が必要）

便数や運行時間帯が利用しやすく、徒歩の補完となること

地区の特性（導入する効果）、事業性の有無など

歩行者の安心・安全が一定保たれる場合

利用者ニーズが反映された配置、仕様になっているか